

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 5月 20日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県花巻市大迫町大迫第1地割4番地

氏 名 株式会社 大迫生コン

代表取締役 佐藤 卓司

電話番号 0198-48-2408

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称

株式会社 大迫生コン

事業場の所在地

岩手県花巻市大迫町大迫第1地割4番地

計画期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類

21 窯業・土石製品製造業

② 事業の規模

製造製品出荷額 20145万円

③ 従業員数

11 名

④ 産業廃棄物の
一連の処理の工程

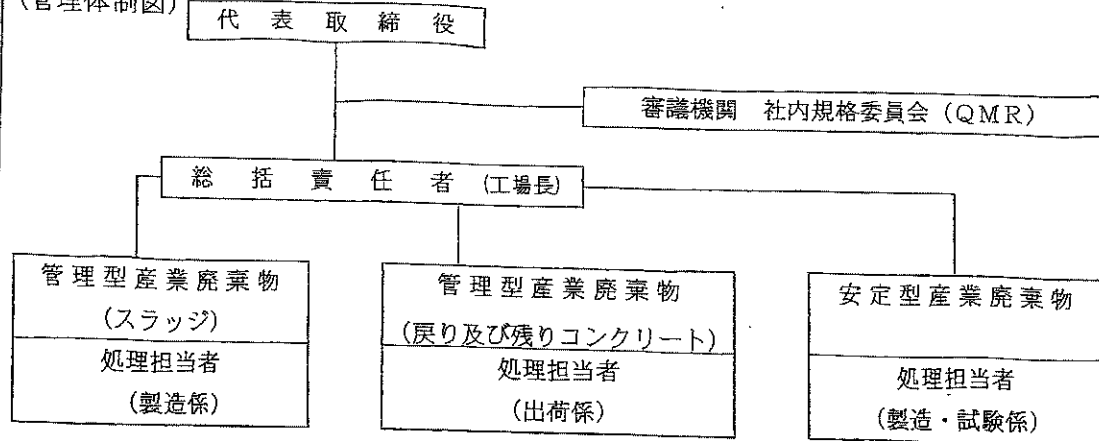
汚泥→自己中間処理（脱水）→自己中間処理残渣→委託処分

（日本産業規格 A列4番）5.22

岩手県
県南広域振興局花保セ第
148-8 号

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	1071.74 t	t
	(これまでに実施した取組) ○出荷の際、残渣量の削減の協力をお願いしながら出荷している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	排出量	1000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ○事前に現場と打ち合わせによる残渣処分量の削減を図る		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ○自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ○今後も自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全処理委託量	1071.74 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1071.74 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	○出荷の際、残渣量の削減の協力をお願いしながら出荷している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	
	全 処 理 委 託 量	1000 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1000 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ○事前に現場と打ち合わせによる残渣処分量の削減を図る。		
※事務処理欄			